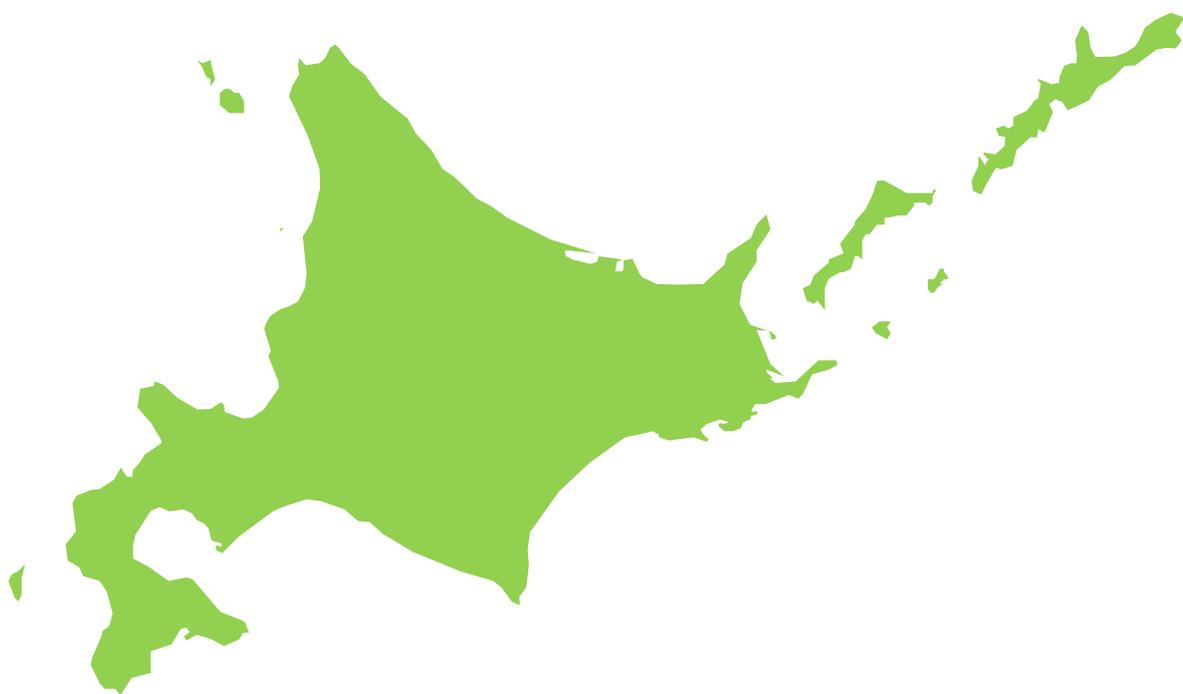


# 経済と暮らしを支える港

## 【北海道港湾の事例集】



# 目次

- 各港一覽.....1
- 室蘭港.....2
- 苫小牧港.....3
- 函館港.....4
- 小樽港.....5
- 釧路港.....6
- 留萌港.....7
- 稚内港.....8
- 十勝港.....9
- 石狩湾新港.....10
- 紋別港.....11
- 網走港.....12
- 根室港.....13
- 宗谷港.....14
- 枝幸港.....15
- 霧多布港.....16
- えりも港.....17
- 浦河港.....18
- 白老港.....19
- 森港.....20
- 榎法華港.....21
- 江差港.....22
- 奥尻港.....23
- 瀬棚港.....24
- 岩内港.....25
- 増毛港.....26
- 羽幌港.....27
- 天塩港.....28
- 鴛泊港.....29
- 沓形港.....30
- 香深港.....31

# 各港一覽

## 地域の基幹産業支援(地域の産業支援)

- ・【室蘭港】岸壁リニューアルによる基幹産業の継続と最大級クルーズ船の受入 (P. 2)
- ・【苫小牧港】北日本最大の海上輸送拠点として北海道経済を支えています! (P. 3)
- ・【釧路港】東北海道の海上輸送拠点港として経済や生活を支えています!! (P. 6)
- ・【留萌港】地域産業・生活を留萌港が支えます! (P. 7)
- ・【稚内港】最北の物流拠点 再生エネルギーの導入に貢献しています (P. 8)
- ・【十勝港】農業王国 十勝をみなとが支える! (P. 9)
- ・【石狩湾新港】リサイクルとエネルギーミックスで環境社会を推進 (P. 10)
- ・【網走港】全国に「北海道産小麦」を供給しています (P. 12)
- ・【宗谷港】安全で利用しやすい港づくりを進めています (P. 14)
- ・【浦河港】カンラン岩の安定供給! 我が国の製鉄業を支えます (P. 18)
- ・【白老港】首都圏の生活基盤を支えます (P. 19)
- ・【瀬棚港】地域経済を支える港湾整備 (P. 24)
- ・【岩内港】北海道新幹線、高規格幹線道路の整備は、岩内港から (P. 25)
- ・【天塩港】良質な砂で高品質のコンクリートを作る (P. 28)

## 農水産物輸出促進 ・農水産業振興(農水産業)

- ・【紋別港】農水産品の輸出競争力を強化! 紋別産ホタテを海外へ (P. 11)
- ・【根室港】国内外へ安全・安心な水産品を供給 (P. 13)
- ・【枝幸港】ホタテの輸出を促進! (P. 15)
- ・【えりも港】みなとが活力ある地場産業の拠点 和食の味を支える港 (P. 17)
- ・【森港】地域の農水産品の輸出と観光振興を支えるみなと整備 (P. 20)
- ・【増毛港】サケ、ホタテを増毛から世界の食卓へ (P. 26)

## クルーズ振興など観光産業の強化(観光関連)

- ・【函館港】函館港若松地区における大型クルーズ船の受入環境の改善 (P. 4)
- ・【小樽港】安定した物流、経済の活性化は、みなとまち「小樽」から (P. 5)
- ・【江差港】地域の賑わい創出に貢献するみなと (P. 22)
- ・【羽幌港】海鳥の楽園と羊が戯れる原生花の旅路へ (P. 27)
- ・【沓形港】利尻島の観光と防災の拠点港 (P. 30)

## 離島地域の生活基盤整備(離島)

- ・【奥尻港】離島の生活を支えるフェリー航路「奥尻港」 (P. 23)
- ・【鴛泊港】特定有人国境離島地域の利尻島を支える人流・物流の拠点 (P. 29)
- ・【香深港】特定有人国境離島地域礼文島民の生命線 (P. 31)

## 防災・安全安心(防災)

- ・【霧多布港】港湾、海岸保全施設が地域住民の安心・安全を守ります。 (P. 16)
- ・【樞法華港】みなとから支える地域の安全と産業 (P. 21)

# 岸壁リニューアルによる基幹産業の継続と最大級クルーズ船の受入



**白鳥大橋と工場夜景**  
 室蘭港の「工場景観と企業城下町のまちなみ」などで構成される北海道の産業革命を支えた「炭鉄港」のストーリーは、令和元年5月「日本遺産」に認定された。

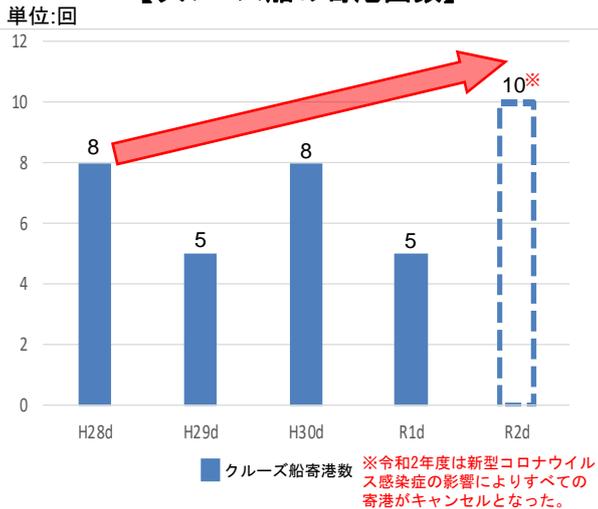
**観光スポットに近接** (祝津親水緑地、水族館、温泉、祝津展望台等)  
**みなとオアシス室蘭に近接** (道の駅みたら室蘭・白鳥大橋記念館)

## 【課題】岸壁の老朽化

- 鋼材やスクラップ等を扱う祝津埠頭岸壁(-11m)は、老朽化により著しく機能が低下



## 【クルーズ船の寄港回数】



## 【対策】老朽化対策 & クルーズ船対応

- 岸壁の老朽化対策を行い、係留機能を維持
- 大水深かつ広い前面水域を活用し、少ない投資で世界最大級の22万トン級クルーズ船の受入に対応
- みなとオアシス室蘭、道の駅、観光スポットに近接し、道央圏の観光振興にも大きく貢献。

## 室蘭港周辺の代表的な観光資源

ウポポイ



1時間アクセス圏域



# 北日本最大の海上輸送拠点として 北海道経済を支えています！

## ○東港区周文ふ頭の連続バース化による利便性向上・耐震機能強化

東港区浜厚真地区周文ふ頭  
フェリーと砂・砂利を同一岸壁で取扱



### 課題① 公共岸壁の不足

- フェリーは岸壁混雑によりダイヤ調整が困難
- バルク貨物船はフェリーとの併用利用のため、荷役時間が制限され遠方からの横持ちが発生

北海道胆振東部地震時の災害支援状況



### 課題② 災害支援船の受入困難

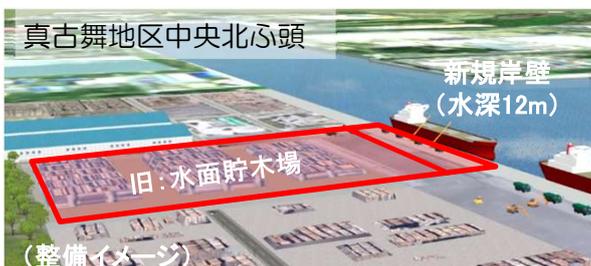
- 北海道胆振東部地震では、災害支援船を受け入れる岸壁が不足し、岸壁確保に難航
- 東港区の緊急物資輸送用の耐震岸壁が不足



### 【対策】 浜厚真地区周文ふ頭への耐震強化岸壁の整備

- 連続バースを確保し、東港区の混雑緩和・利便性向上に貢献
- 苫東地域の食関連産業などの新たな貨物需要にも柔軟に対応
- 耐震強化岸壁を整備し、災害時の緊急物資等の受入を確保

## ○西港区の滞船緩和・混雑解消と荷役効率化



### 【対策】 真古舞地区中央北ふ頭への岸壁の整備

- ふ頭再編により西港区の滞船・混雑緩和
- 背後ヤードの一体的な利用で荷役効率化
- 老朽化した水面貯木場・施設を有効活用

# 函館港若松地区における 大型クルーズ船の受入環境の改善

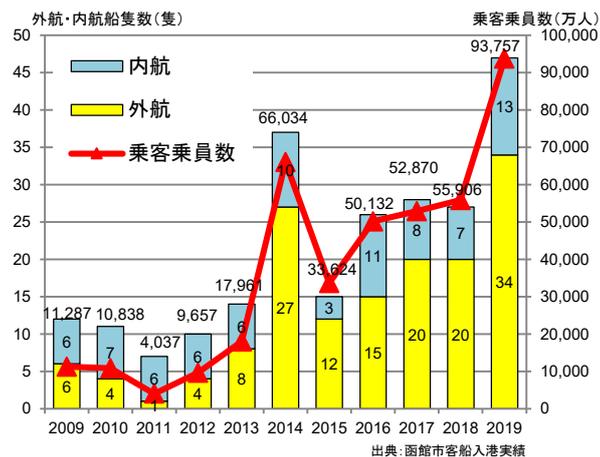


- ◆**函館港のクルーズ船寄港数は、4年(2016~2019年)連続 北海道内1位。2019年は前年比約1.8倍の47隻が寄港(経済波及効果分析による生産誘発額9億円→17億円)。**
- ◆**2018年10月暫定供用開始。市内の主要観光地への徒歩圏内でのアクセスが可能となり、利用者から好評。函館朝市等で来客数が増加し、地元活性化にも寄与。2021年3月には、9万トン級までのクルーズ船の受入が可能となった。**

## 函館周辺の観光資源



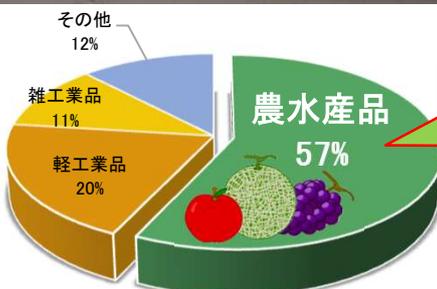
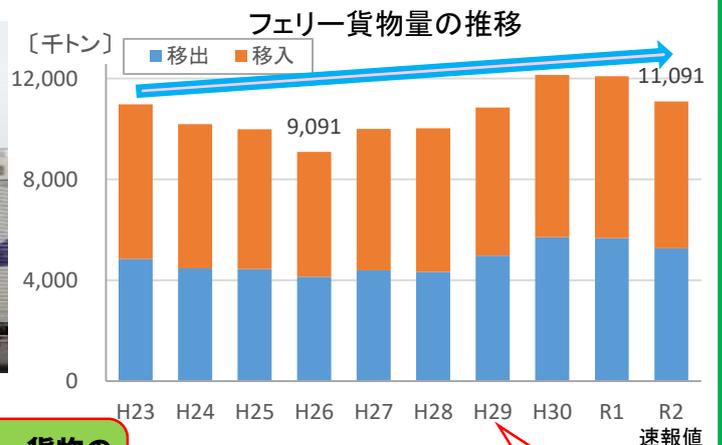
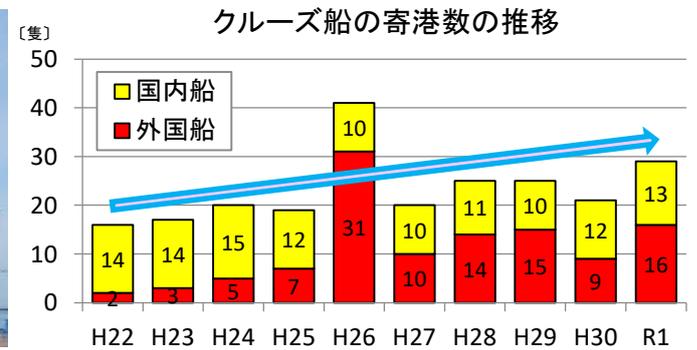
## クルーズ船の寄港実績



# 安定した物流、経済の活性化は、 みなとまち「小樽」から



- 第3号ふ頭の大型クルーズ船受入環境整備により、更なる地域経済活性化を目指します。
- 小樽港発着のフェリーが、北海道と関東甲信越及び関西圏との物流を担っています。



本州へ運ばれるフェリー貨物の  
約6割が農水産品

新造船導入により  
最大3時間半の  
輸送時間短縮

道内で集荷した  
農産物を  
翌朝、新潟港へ！

出典：平成29年度 ユニットロード貨物流動調査

# 東北海道の海上輸送拠点港として 経済や住民生活を支えています!!

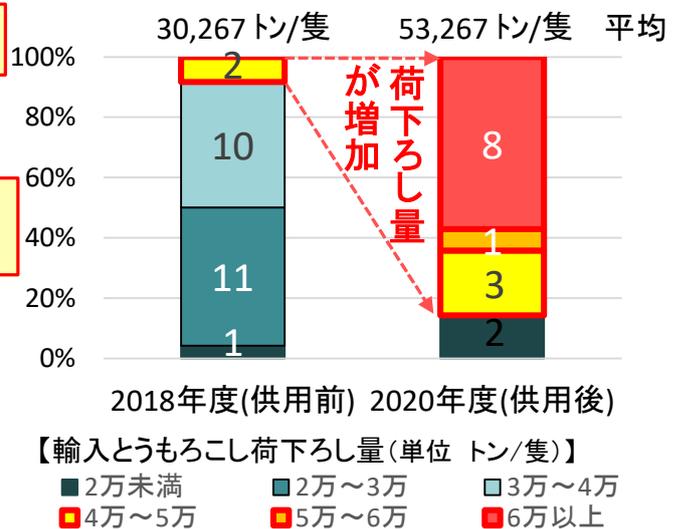
○ 酪農を支える国際バルク戦略港湾



- 釧路港は、我が国の生乳の4割を生産する東北海道において、飼料原料となる穀物の輸入基地の役割を担っています。
- 国際バルクターミナル整備により、約119億の民間投資が誘発されました。ファーストポート入港が可能となり、1隻あたりの穀物輸送量が増加し、取扱量も供用開始前の134万トン(2018年度)から、158万トン(2020年度)に増加。

○ 埠頭完成後の飼料工場の立地

○ ファーストポート化による大量一括輸送の実現



○ 全国主要港のうち有数の水揚量を誇る釧路港水産機能の保持する防波堤の老朽化対策



■ 老朽化対策による防波堤継続維持を行うことにより、継続的に水揚量が確保され、加工場など水産関連企業活動の継続に貢献される。



# 『みなとオアシスるもい』に登録 地域産業・生活を留萌港が支えます！

船場公園（みなとオアシス代表施設）



- 令和2年7月26日に『みなとオアシスるもい』が登録。留萌港を中心としたイベント開催による賑わいを創出し、観光振興を進めていきます。
- 道北圏の産業・生活に関連した貨物の取扱いが多い留萌港は、安定した荷役作業や航行安全を確保するため、防波堤の嵩上げ改良や航路の埋没対策、施設の老朽化対策を進めています。

南防波堤（土木遺産）の嵩上げ改良



係留施設の老朽化状況



舗装の沈下による荷役障害

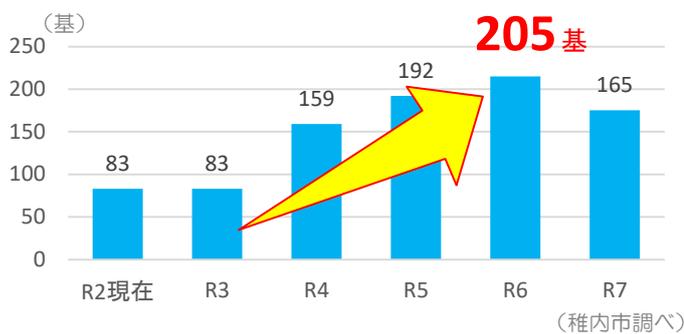
上部工の欠損・舗装の段差による荷役障害

# 最北の物流拠点

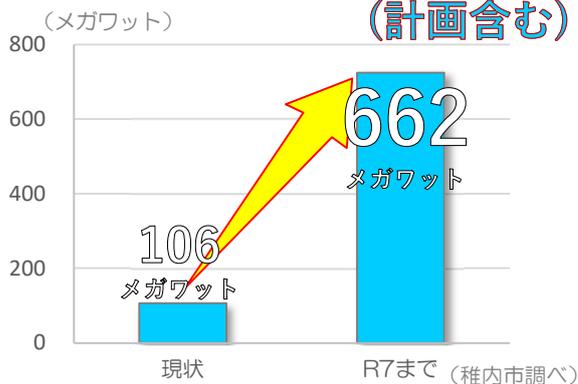
# 再生エネルギーの導入に貢献しています



**稚内市内の風車設置基数  
(計画含む)**



**宗谷管内風力発電量  
(計画含む)**



○稚内港では、風力関連資機材の陸揚げを行っております。今後、稚内市内では約150基の風車の建設が予定されております。

○国土強靱化のため、市民生活を支える重要インフラの機能確保として、北防波堤ドームの老朽化対策を行っております。



～利用者の声～

イベントなどで北防波堤ドームを利用しておりますが、ドームが老朽化しており心配しておりました。早期に整備が進められるとのことなので、早く安心して利用できる施設になることを望んでおります。

# 農業王国 十勝をみなとが支える！ 十勝港整備による飼料コンビナート進出

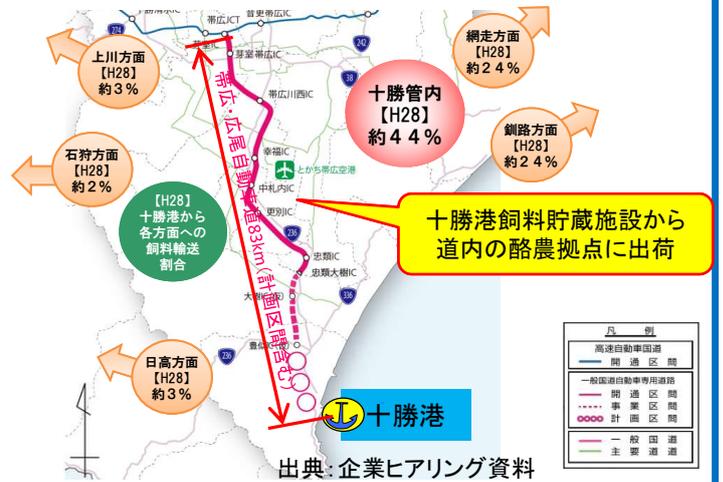


- 平成23年より道内最大級の飼料コンビナートが十勝港において本格稼働。
- 飼料コンビナート稼働前に比べ貿易額及び飼料原料取扱量が2倍に増加。
- 10年連続貿易額100億、飼料取扱量30万トン突破。



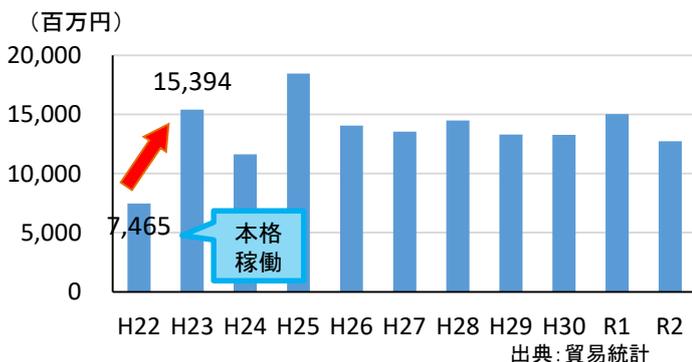
【飼料原料の陸揚げ状況】

## ●十勝港からの飼料輸送の流れ



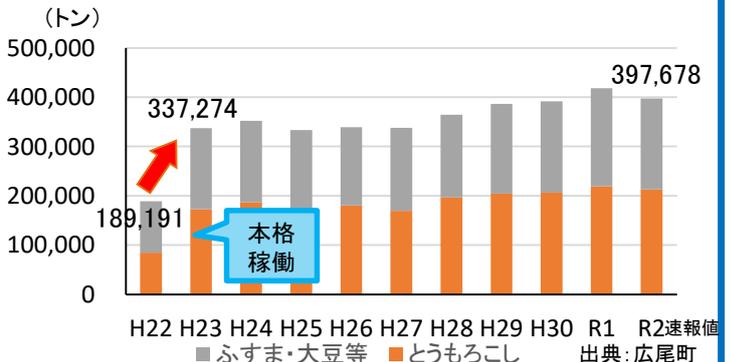
## ●十勝港貿易額の推移

飼料コンビナート稼働前と比較して、**貿易額が2倍以上**に増加



## ●十勝港取扱貨物量(飼料原料)の推移

飼料コンビナート稼働前と比較して、**飼料原料の取扱量が約2倍**に増加



# リサイクルとエネルギーミックスで環境社会を推進

## 世界の鉄スクラップ市場へ



### 背景

- ・鉄スクラップ市場が東アジア→東南アジア等へ
- ・市場の遠方化により国際競争力の強化が急務
- ・数年後に韓国が鉄の輸出国に転じ競争が激化

### 課題

- ・市場の遠方化に伴う船舶の大型化
- ・岸壁水深の不足による大型船の減載出港
- ・岸壁延長の不足による不安定な係留

### 石狩湾新港の再生資源(金属くず)輸出量



大水深岸壁(-12m)等の整備により、鉄スクラップの海外輸出拠点を形成

## エネルギーミックスの国内最先端地

石狩湾新港西地区国際物流ターミナル整備事業

**北海道電力(株)**

LNG火力発電所(出力170.82万kW)  
北海道電力HPより

再生可能エネルギー源を  
利活用する区域  
発電所規模 8,000kW×14基

防波堤(北)

石狩LNG基地完成予想図

**北海道ガス(株)**

LNG火力発電所(出力7.8万kW)  
北海道ガスHPより

高効率ガス発電施設建設地及びLNGタンク

LNGタンク

LNGタンク全景

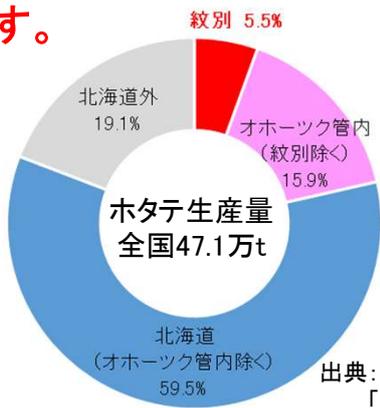
石狩湾新港の整備により、民間投資約3,650億円を誘発

※北海道電力(株)の総事業費3,000億円は日本経済新聞報道(2012年2月24日)における推測(北電は非公表)。北海道ガス(株)の総事業費650億円は北海道ガスHPより

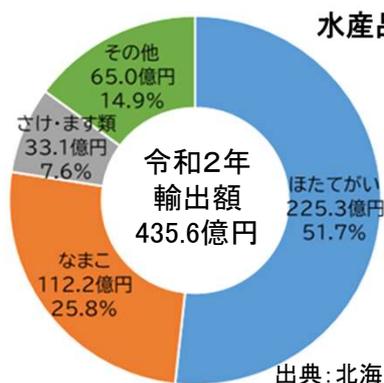
# 農水産品の輸出競争力を強化！ 安全・安心な紋別産ホタテを海外へ



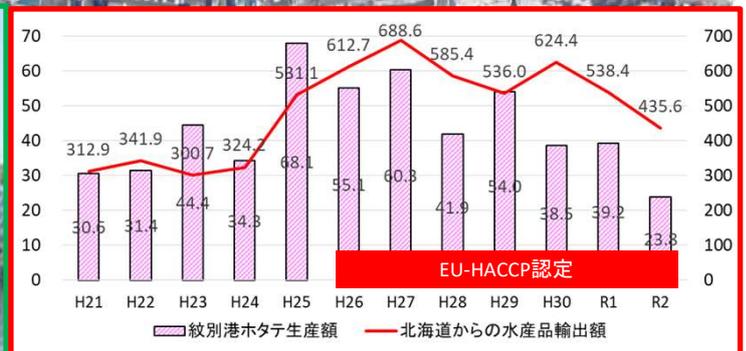
○紋別港を含むオホーツク管内で陸揚げされるホタテは全国の約2割を占め、EUや米国、中国へ輸出され、紋別市内の水産加工場において設備投資(増築)が行われるなど、紋別水産品ブランドの世界的知名度向上への取組が進められています。



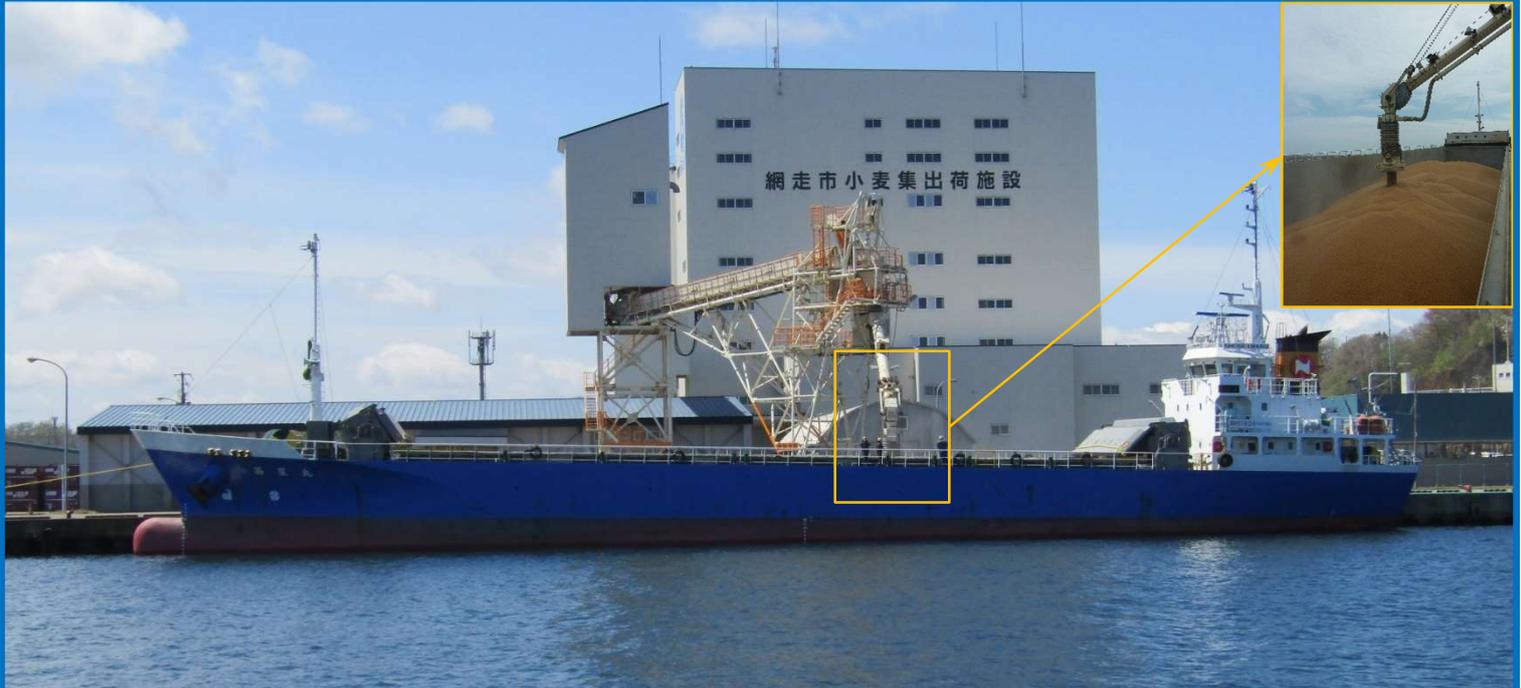
出典: 農林水産省「海面漁業生産統計調査」(R1)



出典: 北海道「食の輸出拡大戦略推進状況報告書」(R3.4)



# 食卓の主食はみなとから！ 全国に「北海道産小麦」を供給しています



○オホーツク管内の小麦移出を行うための「小麦集出荷施設」が2014年5月より稼働しています。安定した供給に向け港内静穏度を確保するため、防波堤を整備しています。

## 安全・安定的な供給体制の確保



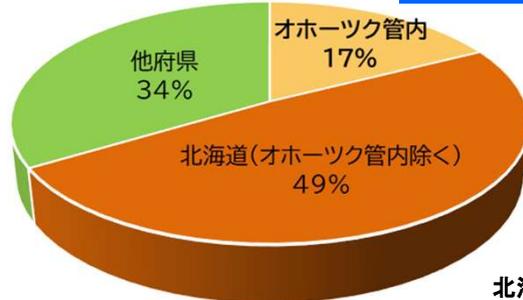
小麦集出荷施設

防波堤の延伸及び嵩上げ改良により  
安全な荷役作業や安定的な移出に寄与

## オホーツク管内の小麦生産量

【小麦の国内生産内訳】

国内生産の約17%が  
オホーツク管内で生産



北海道合計 66%

出典：農林水産省「作物統計」(令和2年)

## 小麦の移出量の推移



出典：網走市調べ

効率的な供給が実現し、  
移出量や取扱割合が増加！

## 小麦の移出先



パンやうどんに加工  
され全国の食卓へ

- 関東地方：約55%
- 近畿地方：約22%
- 中部地方：約9%
- 九州地方：約5%
- 四国地方：約4%
- 道内：約4%

※R2実績  
(網走市調べ)



～国内外へ安全・安心な水産品を供給～

○ 根室港は全国有数の水揚げ((R1)全国7位の水揚額)を取り扱っており、主要のサンマの他、サケ、タラ、コマイなど多魚種を通年荷役しています。

○ 海外向けトップセールスでは、衛生管理面など屋根付き岸壁での水揚げが高い評価を得ており、更に、高い軒高や支柱のセットバック等の特殊構造で生産活動の効率化など業界全体から大変好評を得ております。2棟目以降も同じ構造で屋根施設整備を進め、根室産水産品の更なる輸出促進を図ります。



5～11月(サンマ・イワシ)



4～11月(サケ)



11～2月(タラ・コマイ)



輸出促進に貢献する  
屋根付き岸壁

3棟目整備  
予定箇所

2棟目整備  
予定箇所



課題

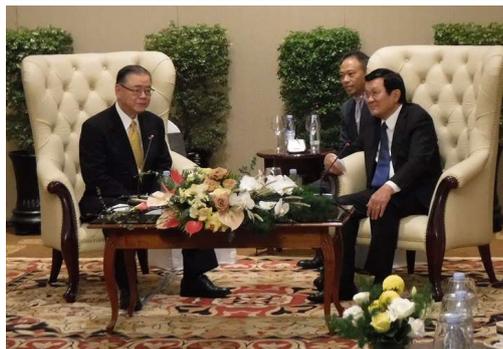
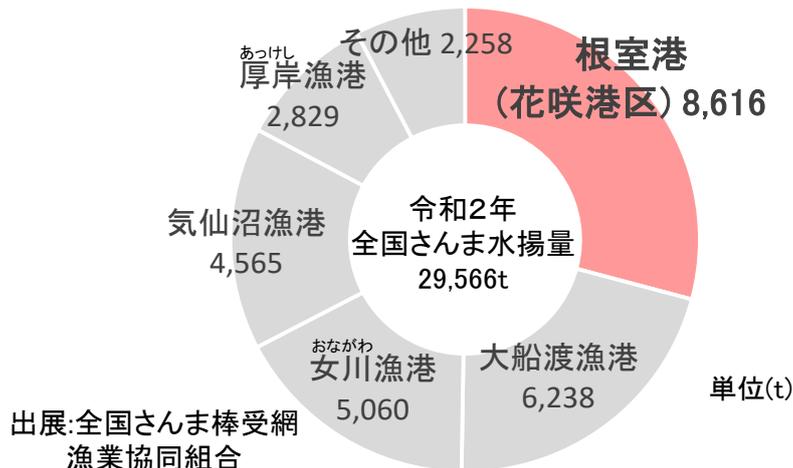
鳥フンなどの混入による  
水産物の品質低下



対応

屋根施設の整備により鳥フンなどの混入や日射による鮮度低下を防ぎ、品質の向上を図る

根室港(花咲港区)サンマの水揚量、金額11年連続日本一



石垣市長がベトナム政府を訪問し、根室産水産品のトップセールスを実施。(令和2年1月)  
(左:石垣市長、右:ベトナム元国家主席)

地域の基幹産業支援

# ロシアに最も近い港 ホタテの水揚げなど 安全で利用しやすい港づくりを進めています



○宗谷港では、係留施設不足による多艘係留や強風の中でのホタテ水揚げ作業の効率化を目指し、整備を進めています。

整備前



多層係留状況

整備後



風・雪対策 → 労働環境改善

- ・宗谷港には、全国で唯一、領海や排他的経済水域（EEZ）の基線となる低潮線を有している
- ・宗谷港の防波堤には、低潮線保全区域(160, 161)が位置づけられ、日々、港湾施設の維持・管理を実施している



出典：海上保安庁HPより「我が国の領海・排他的経済水域」



宗谷港 港湾区域内低潮線保全区域 位置図



## 枝幸産ホタテ貝の輸出額・量



全国初！ 農水産物輸出促進計画認定

※R2は新型コロナウイルスの影響により輸出額が減少

平成30年11月1日より農水省発行の輸出証明書は役場で交付OK！

札幌、旭川まで行く必要はありません



### 【課題】

野天での荷役作業により、直射日光及び野鳥の糞害などにより品質低下



### 【対策】

屋根付き岸壁の水揚げ作業(イメージ)

○枝幸港では、水産物の品質・衛生管理機能の強化に資する屋根付き岸壁等の整備促進により、ホタテの輸出拡大を促進。

ホタテは EU、アメリカ、中国 等へ

玉冷、乾貝柱、活ホタテを町内で加工し輸出！



ブランド名「枝幸ほたて」地域団体商標登録 (R3.3.19)

※枝幸漁業協同組合・枝幸水産加工業協同組合の共同による



### 枝幸町内の認定施設

- 対EU輸出水産食品取扱認定施設・・・2箇所
- 対米輸出水産食品取扱認定施設・・・4箇所
- 対中国輸出水産食品取扱登録施設・・・11箇所

# 港湾、海岸施設が

## 地域住民の安心・安全を守ります。



- 北海道東部に位置する浜中町では、チリ沖地震津波(昭和35年)等で甚大な津波被害が度々発生。
- 全国初となる水門・陸閘の開閉作業を一元的かつ、迅速に遠隔操作できる「津波防災ステーション」の運用を平成14年より開始し、東日本大震災でも効果を発揮。
- 港湾施設や防潮堤改良で、防災機能を高め、住民の安全を守ります。

### ○港湾施設(防波堤(北))

### ○海岸施設(防潮堤)

第1線防波堤の倒壊を防ぐため、老朽化した防波堤の改良を実施中。

防潮堤嵩上げにより、居住地の安全を確保  
令和2年度完成

浜中町民の2割が市街地に居住



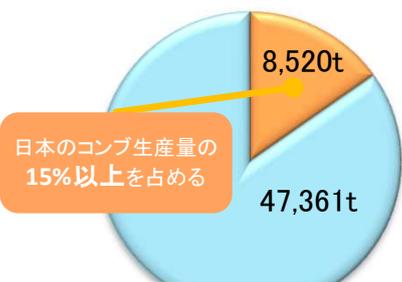
# みなとが活力ある地場産業の拠点 和食の味を支える港



課題：北防波堤の老朽化

○えりも町は、昆布の生産量が日本の15%以上占めており和食の味を支えています。えりも港は水産業の拠点であり、安定した雇用と持続可能な社会の創出に貢献しています。

○防波堤の老朽化対策により、航路及び港内の静穏度が向上し、船舶の安全利用が確保されるとともに、コンブ等の一時保管に利用している水中荷捌き施設の安全利用に寄与します。



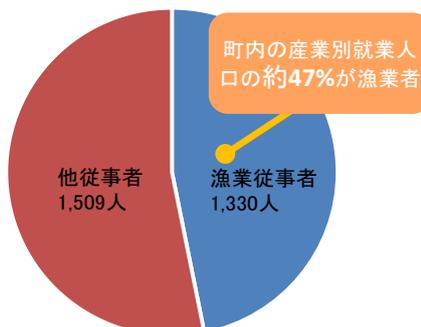
えりも町のコンブ生産量が全国に占める割合(H30年実績)  
＜出典：H30海面漁業生産統計調査＞



コンブ干しの様子



えりも町のコンブ生産量 過去5力年の推移



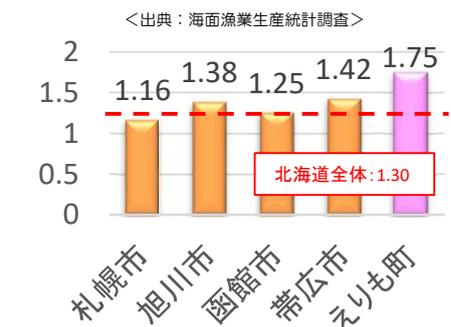
えりも町の就業人口における漁業従事者人口の割合  
＜出典：H27国勢調査＞

水産業を軸にした産業基盤の整備により

えりも町の雇用を創出

地場産業の安定による出生率の向上により

地元の少子化対策



地場産業の安定により、出生率が向上。  
＜出典：H25～H29人口動態保健所・市区町村別統計＞

# カンラン岩の安定供給！ 我が国の製鉄業を支えます



## カンラン岩移出状況

カンラン岩

- 防波堤が延伸されたことで、岸壁前面の波高を小さくし、カンラン岩の荷役を安定的に行うことが可能に。
- 係留施設と一体となってカンラン岩をストックするヤードが確保され一度に多量のカンラン岩の取り扱いが実現。



### 浦河港におけるカンラン岩の移出量の推移

### カンラン岩の主な移出先と鉄製品の用途



- カンラン岩は、鉄を製造する工程で鉄鉱石に含まれる不純物を取り除く材料（製鉄副原料）として使用
- 我が国のカンラン岩の採掘箇所は、浦河港背後の様似町と日高町の2箇所のみ
- カンラン岩は、全国の製鉄所に移出され、生産された鉄製品は、自動車や家電をはじめ様々な製品の材料となっている

鉄製品の事例



写真：「新日鐵住金株式会社アニュアルレポート2016」より

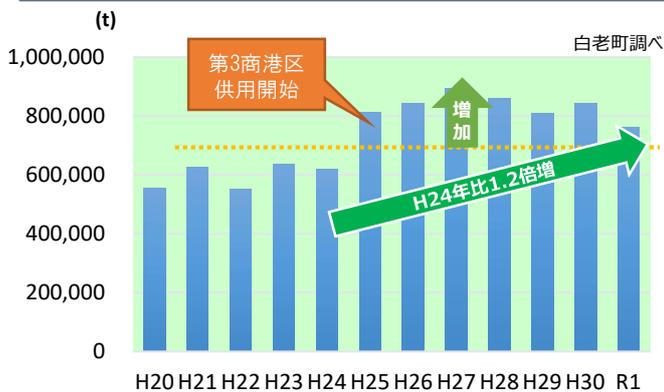
※R2は新型コロナウイルスの影響等により移出量が減少。

# 首都圏の生活基盤を支えます

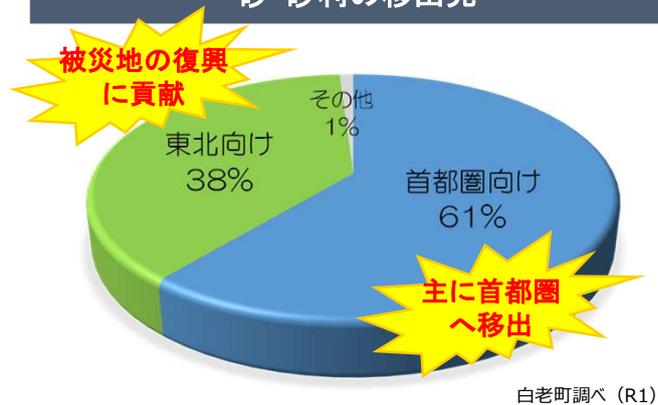


- 砂・砂利の移出量は全国有数の出荷量を誇る。建設資材として主に首都圏へ移出。
- 第3商港区の整備により、取扱貨物量が増加するとともに、新たな進出企業の港湾利用の検討や、クルーズ船の寄港が決定。

砂・砂利移出量推移



砂・砂利の移出先



## ◎ 新たな観光需要を創出する

- ・第3商港区の整備により、大型クルーズ船の入港が可能となり、2017年5月11日、「ぱしふいっくびいなす」が初寄港し、アイヌ伝統楽器ムックリの演奏などのおもてなしを実施した。
- ・民族共生象徴空間「ウポポイ」の開設(2020年7月12日)により、将来の観光需要の拡大に向け、クルーズ船寄港増加への取組みを進めており、2021年では「にっぽん丸」「ぱしふいっくびいなす」が寄港予定。



アイヌ文化儀式による安全航行祈願



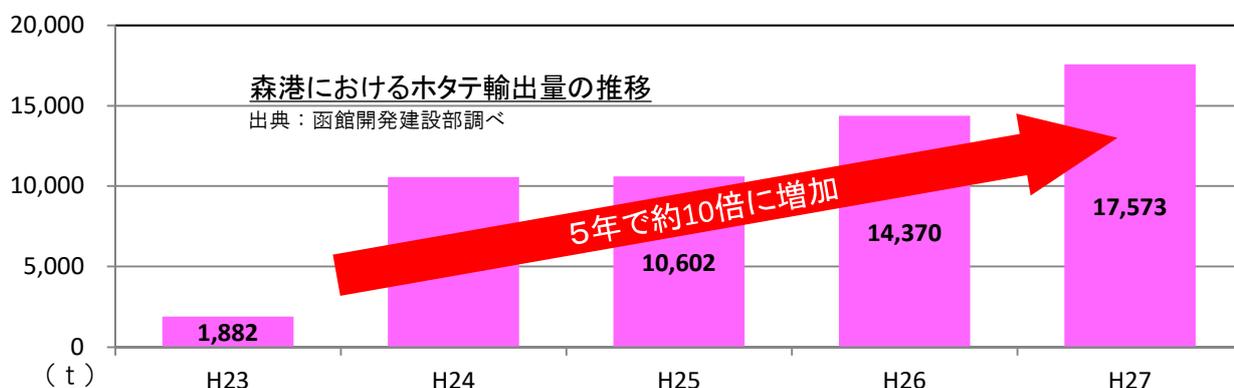
民族共生象徴空間  
開業記念式典(2020.7.11)



# 地域の農水産品の輸出と観光振興を支えるみなと整備



- 国の主要な輸出産品であるホタテの約8割を北海道産が占める。町内の約20社の水産加工会社がホタテを輸出しており地域経済を支えている。(森港の輸出量は5年で約10倍となる17,573トン(H27))
- ホタテ等の水産業を支える物揚場の老朽化対策等を進めています。



- 森港－室蘭港を結ぶ航路(森蘭航路)は、新たな観光ルートとして注目され、平成28年度より、森蘭航路を利用する旅行ツアーが企画・実施され、平成30年度は333人(11回実施)が利用。新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は実施されなかったが令和3年度は30回の実施を予定している。

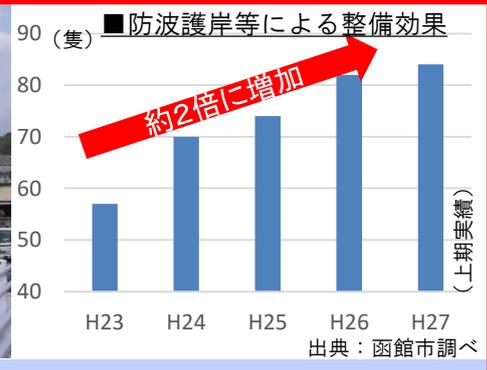
# みなとから支える地域の安全と産業



護岸（防波）の越波状況



漁船の陸揚げ状況



函館市

恵山の火山災害に備える!!

## 恵山火山防災ハンドブック

保存版

発行：函館市  
発行月：平成28年3月



- 避難港である楳法華港では、防波護岸の整備促進により静穏域が増え、利用隻数が増加。
- 平成27年に函館市策定の「恵山火山避難計画」では、陸路が塞がれた場合の船舶接岸場所として地域の安全を確保。

～地域産業(水産業・水産加工業)を支える港として貢献しています～

- ・イカやブリ、スケトウダラが中心となっており、近年イカの不漁が続く漁獲量は減少する一方、ブリが高値で取引される等、漁獲高は概ね横ばい。
- ・背後の水産加工会社では、楳法華港から水揚げされる水産品を中心とした水産加工品が製造されており、地域経済を支えている。

■水産品の取り扱い状況

区分	平成28年	平成29年	平成30年	
漁獲高	899,917	912,222	845,875	
漁獲量	2,445	2,699	2,469	
主な魚種	ブリ	871	スケトウダラ	1,098
	スケトウダラ	600	ブリ	714
	ほたて貝	288	スルメイカ	198
	その他	686	その他	689

出典：函館市調べ



# 地域の賑わい創出に貢献するみなと

～江差の五月は江戸にもない、日本遺産認定のみなと～



離島フェリー係留状況



小型船輻輳状況



姥神大神宮渡御祭

○江差町は、親水空間と江戸時代からの歴史文化を生かした観光振興に取り組んでおり、平成28年度の文化庁長官表彰、平成29年度の日本遺産(文化庁)「江差の五月は江戸にもないーニシン繁栄が息づく町ー」に認定されました。平成31年3月には、姥神大神宮渡御祭が北海道無形民俗文化財に指定されました。毎年徐々に「みなとオアシス江差」を訪れる観光客数が増加していましたが、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により町のイベント等が中止となり、観光客数が激減しております。

○江差-奥尻航路は奥尻島と本土を結ぶ唯一の離島フェリー航路です。係留施設の老朽化が進展していたことから、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策による老朽化対策を進め、長期的な安全・安定的な運航を確保していきます。

みなとオアシス江差の観光客数



みなとオアシスエリア図



出展：江差町調べ ※平成30年は休日の天候不良及び北海道胆振東部地震による停電等で観光客数が減少

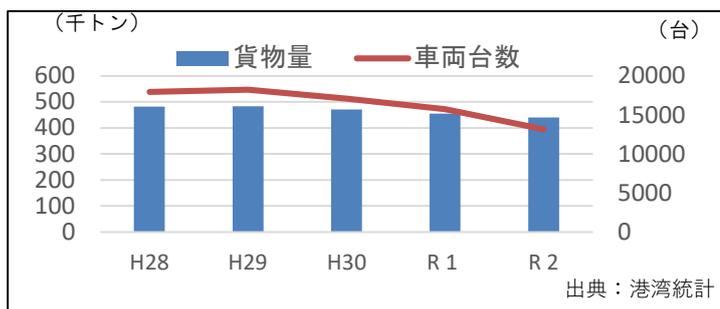
# 離島の生活を支える フェリー航路「奥尻港」



平成29年5月1日 就航歓迎セレモニーの様子

- 平成29年5月1日より新造船「カランセ奥尻」が就航しました。  
利便性が向上し、イベント時や災害時など島民の生活や地域経済を支える交通手段として重要な役割を担っています。
- 小型船だまりの安全を確保するための防波堤等の整備が進めており、利用者から完成を心待ちにしております。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの中止や観光客の入込数が激減しています。

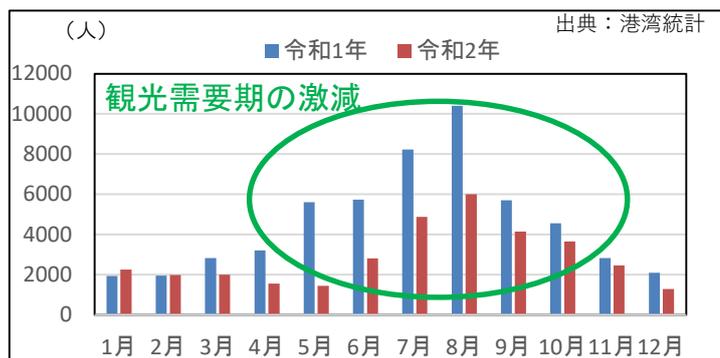
■フェリー貨物量と車両台数の推移（奥尻～江差）



北海道南西沖地震後のフェリー利用状況



■フェリー旅客数の推移（奥尻～江差）



第6回奥尻ムーンライトマラソンの様子(6月)

# 地域経済を支える港湾整備



港内仮置状況



風車建設状況  
(R1.9.30撮影)



資材荷役状況

- 瀬棚港では、平成16年4月、国内初の町営洋上風力発電機(600kw級)を港内に2基設置し、港湾における洋上風力発電の導入について先駆的役割を担っている。
- せたな町大里地区、元浦地区に、風力発電所(16基、最大出力51,200kw)が計画されており、風車本体の搬入を平成31年3月から5回に分けて、瀬棚港の岸壁(-7.5m)で搬入。
- 風力発電設備や砂・砂利の荷役の安全利用へ向け、防波堤整備を進めています。



洋上風力発電  
(風海鳥：かざみどり)



# 北海道新幹線、 高規格幹線道路の整備は、岩内港から



○岩内港は、防波堤の整備により港内の静穏度が向上し、建設資材（石灰石や砂利・砂）の供給拠点となっています。



石灰石、砂利・砂の移入



岩内港は下記インフラ整備に貢献

- ・北海道新幹線
- ・高規格幹線道路(倶知安余市道路)
- ・ニセコエリアリゾート

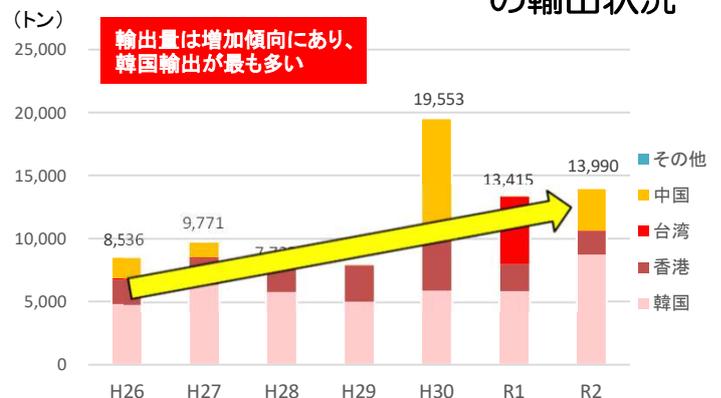
# サケ、ホタテを増毛から世界の食卓へ ～屋根付き岸壁でクリーンな水揚げ作業～



- 農水産物輸出促進計画が策定（H29.5.23認定）
- 増毛港では、水産物の品質・衛生管理機能の強化に資する屋根付き岸壁等の整備促進により、サケやナマコ等の輸出拡大を目指しています。

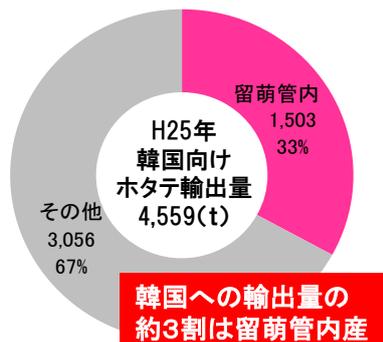


## ▼日本国内におけるホタテ活貝の輸出状況



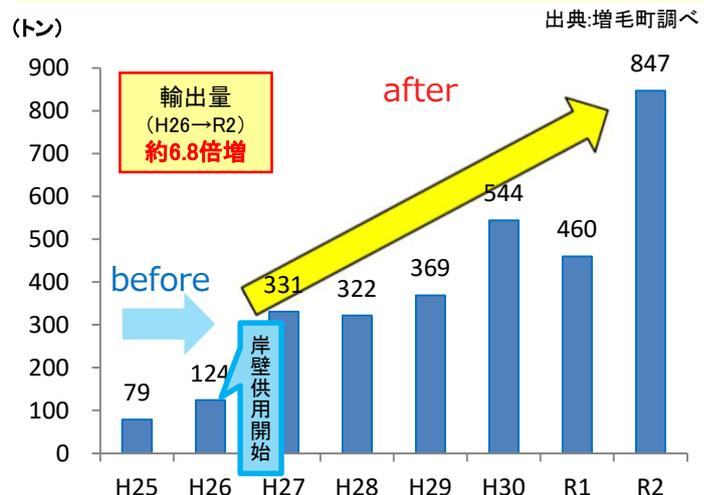
資料：貿易統計  
※統計値「スキヤロップー活、生鮮、冷蔵」より集計

## ▼韓国向けホタテ活貝の輸出状況



資料：貿易統計、管内漁協ヒアリング調査

## 増毛港 ホタテ活貝輸出量の推移



# 海鳥の楽園と羊が戯れる原生花の旅路へ ～離島の観光と生活を支える港～



- フェリーは本土と離島を結ぶ唯一の交通機関として、観光業及び島民の日常物資輸送や通院など、生活に欠かせない重要な役割を担う。
- 耐震強化岸壁整備事業により、離島交通の安全確保を図るとともに、老朽化が著しい物揚場の改良を進めている。



・平成元年に開設、羽幌沿岸フェリー(株)が運航  
 ・フェリーと高速旅客船各1隻の2隻が就航  
 ・夏期の繁忙期は2隻体制で6往復/日  
 閑散期は1隻体制(主にフェリー)で1往復/日運航

※所要時間  
 羽幌～焼尻 フェリー:60分、高速船:35分  
 焼尻～天売 フェリー:25分、高速船:15分



上:天売島  
海鳥(オロロン鳥等)繁殖地  
(国の天然記念物に指定)



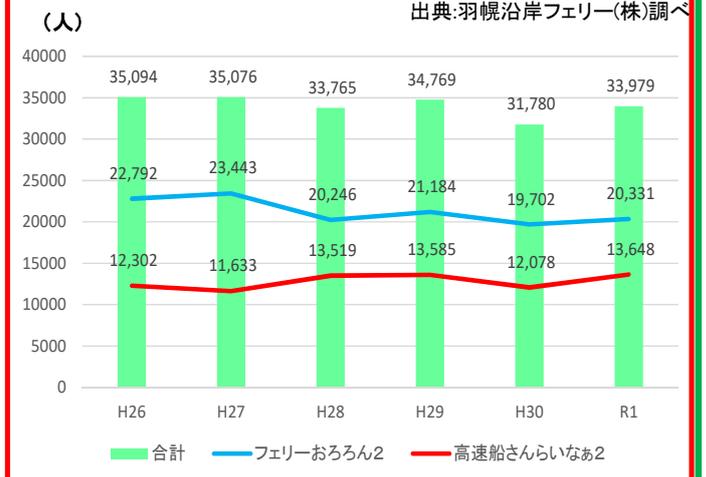
上:焼尻島  
サフォーク種のめん羊牧場



右:羽幌港  
フェリー物資搬入状況

## 羽幌港 フェリー旅客数の推移

出典:羽幌沿岸フェリー(株)調べ



# 良質な砂で高品質のコンクリートを作る ～北海道の建設業を支える港～



- 天塩港は、道央圏の生コンクリート骨材需要を支える砂の積出港、沿岸漁業の基地として重要な役割を担うとともに、利礼航路が流氷により閉ざされた場合の代替港としての役割も有しています。
- 静穏度向上や航路埋没対策のための防波堤等の整備を進めています。

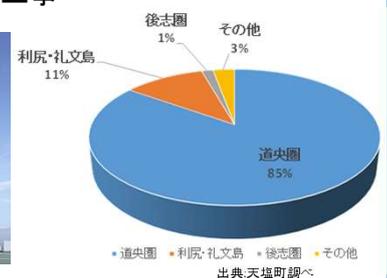


天塩港における砂の移出量の推移

砂の主な移出先について



- 道央圏の民間需要に貢献
  - ・札幌圏の都市再開発事業
- 後志圏のインフラ整備等に貢献
  - ・新幹線や高規格道路の建設
  - ・ニセコ地方のリゾート開発
- 離島（利尻・礼文島）の基盤整備に貢献
  - ・離島内での建設工事



# 特定有人国境離島地域の利尻島を 支える人流・物流の拠点

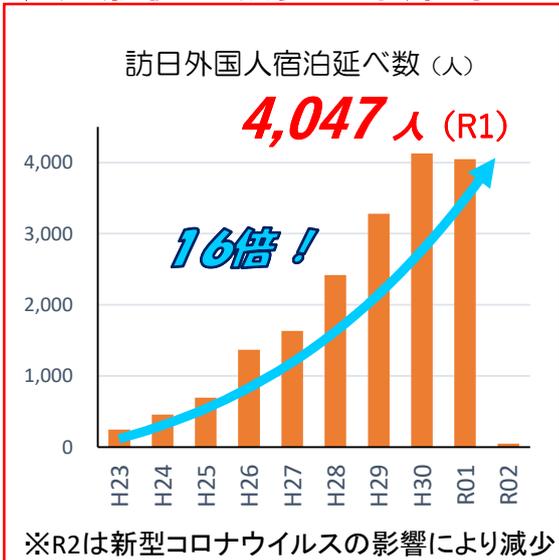
## 安全・安心な航路



## 全天候、バリアフリー化



○防波堤やボーディングブリッジ整備により、欠航便の減少や乗船時における快適性の向上が図られています。



○物揚場の老朽化対策による漁業利用を維持することにより、継続的に水産物の水揚げが確保され、地域経済活動の向上が図られます。



上部工のひび割れ



エプロンのひび割れ



本体工の欠損

# 利尻島の観光と防災の拠点港



○クルーズ船対応整備により、利尻島への旅行者が増加し地域産業の活性化が図られます。また、耐震強化岸壁整備により災害時における利尻島への救援物資輸送航路が確保されます。

H29は **11回** 寄港！



※R2は15回の寄港を予定していましたが新型コロナウイルス感染症の影響によりすべてキャンセル

利尻島 唯一の耐震強化岸壁



災害時の生命線！

利尻島民

約 **5,000** 人の

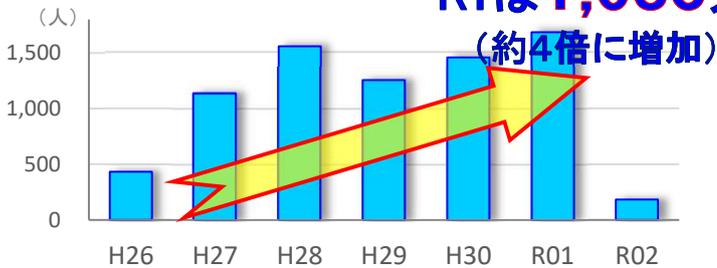
**命** を守る！

# 特定有人国境離島地域礼文島民の生命線 訪日外国人旅行者増加に貢献



- 防波堤改良により、フェリー就航率の向上が図られ安定的な物資輸送と観光入込数の増加が図られています。
- 耐震強化岸壁整備により、災害時における礼文島への救援物資輸送航路の確保が図られています。

## 訪日外国人宿泊延数 R1は1,683人



出典：宗谷管内市町村観光入込客数調査(宗谷総合振興局)  
※R2は新型コロナウイルスの影響により減



外国籍クルーズ船の接岸

## 礼文島 唯一の耐震強化岸壁



常時



石材搬入



平成26年8月 豪雨災害  
土砂崩れ状況

緊急時

緊急物資の搬入



ヘリコプターによる搬送  
耐震岸壁背後(H26.8)